

女性活躍推進事業【三重県名張市】

地域の実情と課題

平成26年度に当市が実施した事業所向けの意識調査では、女性活躍の取組については約80%の事業所が「何らかの形で実施している」と回答したのに対し、「育児や介護との両立支援」や、「ワークライフ・バランスに配慮した取組」については「特に何も行っていない」と回答した事業所が、それぞれ12.2%、22%で、育児休業の取得（H25年度）に関しては、男性の取得率がわずかに1.1%と、非常に低い状況が明らかになった。

事業の特徴

名張市男女共同参画推進フォーラム2019において、イクボスの取組を推進するための講演を実施。第一部の中で名張市からイクボス宣言後の実態について説明した。

第二部ではイクボス先進事業所ということで、井村屋グループ株式会社の副会長・中島伸子さんによる講演を開催した。イクボスとして活躍される中島さんの体験を交え、具体的な取組の紹介や女性ならではの柔軟な考え方や視点によるポイントも多く、イクボスの取組みに関して新たな発想が得られる場となった。

事業の効果

一般市民の方の参加も多く、広く一般に啓発することができた。参加者のアンケートでは、イクボスの取組みに関心を持っていただけの感想が多く見られた。今後は事業所へのアンケートや市民意識調査等により、長期的な効果を検証していく必要がある。

数値目標として掲げるものについては、「ポジティブ・アクション」の認知度（現状値10.7%）、働く意欲のある人いきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合（現状値27.4%）等の項目により効果が期待される。

目的・目標

固定的性別役割分担意識に同感しない市民の割合は、平成26年度時点で76.1%だった。一見すると意識改革が浸透しているようにも見えるが、同時にまだ意識が根強く残っていることも示している。

平成29年9月22日には「まちじゅう元気！ イクボス宣言 なばり」と題して、市内の65事業所に賛同いただき、イクボス宣言を行った。イクボスの増加は、女性の活躍推進へと大いに繋がるが、事業所等における女性活躍推進の取組はまだ十分とは言えない。

更に女性の活躍を推進していくためには、イクメンへの理解やイクメンの増加も欠かせない。また、事業所だけではなく一般市民の意識改革の機会とするためにも、啓発が必要である。

連携団体

- ・井村屋グループ株式会社
- ・名張商工会議所 ・三重県
- ・名張市人権センター ・名張市男女共同参画センター

今後の課題

今後は「イクボス宣言」を行った事業所を中心に、官民が連携して取り組んでいくとともに、参加に結び付けるためのテーマ設定や広報の工夫をしていく必要があると考える。

名張市男女共同参画推進フォーラム2019

平成31年2月2日（土）13：30～ 名張市総合福祉センターふれあい

名張市イクボス宣言後の報告

平成29年9月22日に賛同事業所と共に行った「まちじゅう元気！イクボス宣言 なばり」以降の状況について、名張市人権・男女共同参画推進室より報告を行いました。平成30年度に実施した三道辞表所へのアンケート結果や、そこから見える課題、市内賛同事業所のイクボスに関する取組の紹介などを行いました。

（市内賛同事業所：68事業所※平成31年2月2日時点）



講演「2軸を持ってイノベーションを」

講師に井村屋グループ株式会社代表取締役副会長の中島伸子さんをお招きし、「2軸を持ってイノベーションを」というタイトルで講演いただきました。ダイバーシティ時代への変遷、女性が改革を掴むポイント、井村屋内での働き方改革、そしてイクボスである中島さんご自身の体験と、イクボスとしてこれから働き方改革を進めていくためにとてもためになるお話をいただきました。

井村屋では、自席のカードで表示をする「頑張るタイム」「何時に帰ります」や、パトロール隊による情報収集や相談受付、「THINGS TO DO」の活用、ハンドブックの作成など、さまざまな働き方改革が実行されています。

講演は、企業の方だけでなく市民の方々にもたいへん好評で、「女性の視点で、企業の先頭に立っておられる姿、とってもステキです」、「中島さんと一緒に仕事をされる人はとても幸せだと思います」、「一步踏み出す勇気をもらった」、「人生の生き方、色々励ましをいただきました」といった感想をいただきました。



中島さんは平成31年4月付で、井村屋グループの社長に就任されました！本当におめでとうございます！